

私の仕事観

「経営でもっとも重要なことは、大海を共に航海する仲間をつくること」——多くの経営者の方に出会い自身も事業経営を経験してきた中で、そう強く実感しています。仲間となる人の採用は、企業にとっての心臓。採用から血流が起これば組織の隅々にまで栄養分がゆきわたり、企業に、ひいては、日本社会に活力が生まれるのです。だから、企業様、特に日本の次世代を支える中小企業様の「ジンジブ」としての採用支援事業に大いなる社会的意義を感じています。また、まだ船出して1年半ほどの企業ですが、この船を自らの手で主体的に動かし、新しい航路を切り拓いていこうとする仲間、に恵まれていることを何より嬉しく心強く思っています。

多様な個性が輝く社会へ。 高卒で「プロ」を目指す人を支援



株式会社ジンジブ
代表取締役
草場 勇介

●会社概要

2014年2月、プロモーション戦略に関するソリューションの提案を行っている株式会社ピーアンドエフより出資を受け、「人と未来グループ」の1社として設立。東京・大阪・福岡を中心に幹部クラスの人材紹介、大学卒採用支援事業を展開。8月に高校生の新卒採用に特化したメディア「JOBドラフト」をリリースするなど、人材サービス市場に新たな機軸で斬り込む。

くさば ゆうすけ

1982年生まれ。慶應義塾大学卒業後、日本ビジネスバンク(株)(現レイス(株))でヘッドハンティング事業に関わった後、教育、介護、医療事業に関わる事業を立ち上げる。2014年、(株)ジンジブを設立、代表取締役に就任。「高校時代まで野球一筋で、大学時代は母校のコーチをしていました。当時から『次世代を担う人を応援したい』という思いがありました」。

最近思っていることあり

高校生の新卒就職をバックアップするメディア「JOBドラフト」を8月にリリースしました。労働力不足が進行する中、大卒者一括採用というモデルのみに頼っているのは企業の活力向上を望めませんし、働く人にとっても単一のモデルのみが「正解」とされることは不自由なことです。同時に、高校生新卒採用は、1人1社しか応募できないなど厳しい制約があり、ミスマッチが起これば、入社1年目の離職率が大卒者より高くなっています。採用支援サービスも極めて手薄です。この現状に風穴を開けたい。そんな思いで事業を立ち上げました。

Top

未来に向かつて

日本の労働市場が多様な働き方を許容し、様々な才能や個性が活躍できる環境の創出に貢献する——それが当社のミッションです。例えば、企業社会で生きていく若者たちの中にも、野球選手のように高卒で大学進学ではなく「プロ」を目指す人がいてもいいはず。「JOBドラフト」は、そんな思いを込めて名付けました。そして、そうした人の中には企業社会で働くことで、実践的な知識や体系だった知恵を学ぶことの必要性和意欲を改めて感じる人もいます。将来的には、そうした人々に学びの機会を提供したいと思っています。